

ぱるつうしん



藤沢育成会HP
QRコード♪

発行元:社福)藤沢育成会 サービスセンターぱる
〒251-0013 神奈川県藤沢市小塚592
電話:0466-28-0909 FAX:0466-28-0959
法人ホームページ:<http://www.f-ikusei.or.jp>

2019年6月号



↑レインボーブリッジ

↓豊洲の公園からの景色



先日、「プライベートで豊洲にあるチームラボプラネット豊洲」に行きました。私は知りませんでしたが、よくテレビで紹介されているようで、今話題のプロジェクトショニマッピングを楽しむことができます。皆さんご存じでしたか?滝に光を当てて光が乱反射し幻想的な様子が表現されていました。鯉を映し出し人に当たると花が咲いたり:一緒に行った人が行きたいと言い出しききましたが、意外と楽しくて、館内を2周ほどしても2時間近くも見ていきました。

障がい者手帳での割引チケットもあります。ご興味のある方はぜひ。

(M・H)

今年度より所長になりました石川です。2004年にサービスセンターぱるの事務員として法人に入職し、今年で職員として16年目を迎えました。また、事務業務との兼務で、グループホームのコーディネーターや、圏域相談事業の担当など勤めてまいりました。改めましてよろしくお願いします。

所長あいさつ

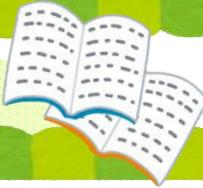
さて、来年、東京オリンピックが開催されます。これを書いている5月はチケット予約の真っ最中です。藤沢市も、江の島がセーリング競技の会場となることから関心が高いところかと思いますが、みなさんも申し込まれましたでしょうか。私も、流行に乗り遅れまいといくつかの競技を申し込みました。

福祉サービスにも時代の流れがあります。

サービスセンターぱるでは、制度の変遷やニーズに合わせて、また時には、タイムケアサービスなどの、時代を先取りしたサービス提供を行なってきました。

オンラインピックのチケットが当たるかはわかりませんが、福祉サービスの流れに乗り遅れるわけにはいきません。これからも、必要とする方に、必要なサービスが届けられるように。制度にとらわれずに、今何が求められているのか、今何ができるのかを敏感にキャッチし、事業所一丸となつて、変化・前進を続けていきたいと考えています。

新規ガイドヘルパーさんに聞きました



今回のヘルパー部署ページでは、サービスセンターぱるの登録ヘルパーとなって1年以内の方数名を対象に、『ヘルパー活動をやってみて…』というテーマでアンケートを取ってみました！

ま
を
こ
ん
な
い
こ
と



- ①ガイドヘルパー養成研修を受講しようと思ったきっかけ。
- ②ヘルパーサービス(利用者さん)のイメージは変わりましたか？
- ③活動での嬉しかったエピソード。
- ④サービスに入る時に大切にしている事はなんですか？
- ⑤あなたにとってガイドヘルパーとは？



①作業所で支援のお手伝いをさせて頂いていたので、また同じようなことに関わりたいと思っていたから。

②自分にはまだまだできていない支援があると思った。

③まだ3回目くらいの時、利用者さんと帰りながら私から『楽しかったね、ありがとう』というと、利用者さんがニコニコしてそっと手を繋いできてくれたこと。

④利用者さんの大切な時間なので、ご本人の意向を大切にしています。

⑤いろいろな方と出会い、一緒に過ごすことで楽しめたり勉強になったりすることもたくさんある、大切な仕事です。



Aヘルパー

①以前グループホームの支援員→現在は世話人。ホーム全体を見ながらの支援に変わり、世話人では少し難しく感じるひとり一人に対しての細かい支援を続けていきたかったので受講をしました。

②ホームで過ごされている時は、言葉少なく、静かに過ごされていますが、外出(カラオケ等)をされた時はしゃぎっぷりに驚き、楽しそうな様子を見て嬉しく思いました。

元々障害のある方と関わっていたのでイメージが変わった部分はありませんが、利用者さんの障害特性に合ったサービス提供ができればなと思いました。

③サービスに入った時に『久しぶりだね』と笑顔で言われた時、前回のサービスで楽しく過ごされた気持ちが伝わり、嬉しく思いました。

④利用者のサービス記録を読み、事前に準備する(ハプニング時の対応などの確認)。健康管理。

⑤直接障害者の方たちとの関わりが持て、サポートをしながら社会と繋がれる、理解しあえる場。



Cヘルパー

①法人の関係職員より勧められたので。

②日中活動支援をしていたので、ある程度理解があり利用者さんに対するイメージが変わったことはありません。



Bヘルパー

③嬉しかったと表現するものではありませんが、何回かサービスをしているうちに“受け入れてもらっている”という実感です。

④日中活動で作業を任せている時からしている事ですが、朝会ったときから利用者さんが良い気分になれるように注力していました。ヘルパーになんでも基本は変わらず、どうしたら気持ちを盛り上げられるかと考えながら仕事に入っています。

⑤ほとんどご家族と活動されている利用者さんにとって、一人で自由に行動する時の補助をする人。



①自宅がぱるに近く、毎朝同じ時間にぱるの前を通っていました。するといつも同じ場所に利用者さんらしき方が立っている事に気が付き、ある日その方がしゃがみ込んで具合が悪いのか気になったものの、声を掛ける勇気がありませんでした。丁度その時期にヘルパー研修の記事を見つけたことがきっかけです。

②以前は怖いと思うこともありました、今は何を伝えようとしているのか考えるようになりました。



Dヘルパー

③発語のない方で、気持ちを上手く汲み取ることができず怒らせてしまうときがありました。ある外出時、気が付くと全く怒る様子なく楽しそうに過ごされているのを見た時、とても嬉しかったです。

④一緒に過ごす時間を出来るだけ楽しんでいただけるよう、コースの再確認など事前準備をするようにしています。

⑤勉強の場。

- ガイドヘルパーを始めるきっかけや心がけている事等、ひとり一人の思いが聞ける機会となりました。皆さんの、“利用者さんの為に”という思いが伝わってきますね♪

- ★アンケートにご協力頂いたヘルパーの皆さん、ありがとうございました★



子ども支援部署

ポニー乗馬会

放課後等デイサービス 星の村とカラフルでは六会にある日本大学生生物資源科学部動物資源科学科畜産経営学研究室の皆様と財団法人ハーモニーセンターの一協力の下、毎年ポニー乗馬会を行っています。

ぱると日本大学が共催して障がい児の乗馬体験会は10年目を迎えました。毎年、日本大学の日本大学生物資源科の農場を借りて実施しておりましたが、今年度から農場使用が難しくなりに当法人の湘南あおぞらの前庭で5月15日(水)実施致しました!

ハーモニーセンターの協力で今回も3頭のポニーが来てくれました。場所が変わったことで午前中は、湘南あおぞらの成人の入所者が乗馬体験でき、午後は例年通り、前半は高齢者乗馬があり、その後に放課後等デイサービス星の村、カラフルのご利用者が23名、乗馬体験できました。

ポニーは人懐っこい馬で、初めての方でも安心して乗馬できます。はじめは緊張していた子どもも年々回数を重ねる中で、慣れてくると後ろ向きに乗つたり、横向きに乗つたり素敵な笑顔で楽しんでおります! 秋にも乗馬会を行いますのでお楽しみに!



“各事業所プログラムのご紹介”

星の村・カラフル・プリズムの5月の活動についてご紹介致します♪♪

プリズムのおやつ作りの紹介をします。タルト作りを行い、クリームをしづってトッピングを選んでのせました。みかんとチョコどちらのトッピングにしようか悩む子もいましたが、みんな上手につくり、笑顔で食べていました! 楽しそうな笑顔があふれています。



星の村で行ったプログラム“ゲーム”の「びりっとやぶくぞ よーいどん！」を紹介します。2枚の新聞紙を繋げて大きな壁を作り、そこへ走っていき勢いよく新聞を破るゲームで、パンチやキックで破る際、自ら技の名前を決めて技を決める児童やキャラクターになりきって楽しむ児童などみなさん楽しんで参加され、笑顔あふれる活動となりました♪



カラフルでのプログラム、おやつ作りを紹介します。今月はおにぎりを作っています。しゃけ、のりたま、すきやきの中から具材を選んで、シェイカーに入れて振った後、おにぎりに海苔をまいっています。上手に作っておいしそうに食べていました!



GH部署



①数十年、勤めて上げた企業を昨年退職された入居者の方がいます。

生活介護の事業所に現在は通所していますが、退職して以来、元気がありません…。それもその筈、その方は今まで会社での仕事を生きがいに感じており、それを日々の活力としていたのです。

「仕事以外に、毎日の潤いとなるような趣味が出来ると良いのだけど…」そこでコーディネーターが本人から聞き取りを行いました。



②「何かやりたいことはないですか？」コーディネーターが尋ねました。
すると「夏野菜を前から育ててみたかった」とのお返事がありました。



③早速、コーディネーターと一緒にプランターと土を準備し、きゅうり・茄子・ミニトマトの苗を植えました。水撒きは積極的にご自分から行き、リビングでの皆さんとの会話にも話題が上るようになりました。毎日、自ら育てた野菜を見ることで徐々にご本人の元気も出てきた様子です！



④そして、ご覧の写真のように、まだ小さいですが、実を付け始めています。梅雨前線が通り過ぎ、入道雲が空に浮かんで蝉の声が響く頃には、きっと立派な野菜がたくさん実っている事でしょう。そして収穫した野菜がホームの食卓に登ったら凄く素敵ですね！



年度が変わり、ホーム部署にも新たにスタッフが加わりました。
早くも心強い存在になっているお三方に、一言ずつ挨拶を頂いているのでご紹介します！



★GH部署★
新職員紹介

前職は湘南ゆうき村の非常勤として勤務していました。現在、午前中は畑仕事や義理父の介護に追われています。ぱるでは入浴を中心週に4日勤務です。趣味は山歩きで、山頂で吹くオカリナは最高です。長年の経験を業務で生かせるよう頑張りますので、皆様宜しくお願いします。

小野勝



支援員として5月からサンベスタ長後で朝援、週末支援をさせていただいております。朝支援の時は「おはようございます」おねがいします」週末支援の時は「『ただきます』『こちらまでいた』ありがとうございます」：一人一人の利用者様から大きな声で返事が返って来るようになります。よろしくお願いします。

加藤芳枝



今年1月より働き始めました。今まで関わってきた3ホームとも、意外と利用者さんの年齢層が高く、私と同い年の方も2人いましたが、後は皆さん、年上でいらっしゃいます。法人の職員、世話人さんが良い方ばかりなので、利用者さんも長年に渡り生活しやすいのでしょうか。色々と学ばさせて頂いております。宜しくお願いいたします。

平塚由美子

職員投稿

ヘルパー部署の小室です。

私は元々、大学は文学部で国文学を専攻していました。古典の研究をしたり、近現代文学（例えば村上春樹とか）の研究論文を読んだりして過ごしていました。そんな学生時代は福祉のぶの字も見当たらない生活でした。できる」となら、大学を卒業した後も、詩や俳句を詠み、気ままに暮らしたかったのですが、さすがに現実的ではありません。

ということで、泣く泣く大学4年の9月頃から本格的に就職活動を始めました。そんな中、日大に通っていた友人から、障害のある児童が動物と触れ合う乗馬会というのをやってる所がある、という情報を得ました。面白そうなので、試しに履歴書を送つてみたら、めでたく就職となつたのでした。



子ども支援部署 齋藤

仕事が無い日に降る雨はそれほど憂鬱に感じない。自分が子どもの頃は家の周辺はまだ土に囲まれた環境にあった。雨が降ると土埃の匂いがしたのを覚えていた。そして屋根を叩く音を聞きながら降る雨を眺めたり、外に出て雨の様子を見たり、口を開いて雨を飲んでみたりと、色々やっていた。そのせいか今でも時々雨の日は屋外に出て、錆びついた五感で雨を楽しんでいる。これから梅雨の季節、憂鬱だが紫陽花と雨が楽しみでもある。



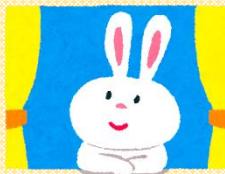
ヘルパー部署 原田

私の雨の日の過ごし方はあまり外には出さず、家に引きこもっていることが多いです。傘の差し方がへたくそで、どうやっても足元はびちょびちょになるので、だからこそ皆さんと一緒に擊退します！特に排水溝の掃除にはクエン酸と重曹を使ってシュワシュワするのを眺めるのを楽しんでいます。カビが増える時期だからこそ皆さんも一緒に擊退しましょう（笑）

グループホーム部署 大木

雨の日の楽しみは、「雨音」を聴くことです。特に眠りに就く前の雨音には、子守唄に似た、安心感のようなものを感じます。ひとつひとつの「ぱらぱら」、「ひちょひちょ」、「さざー・さざー」。色々な音色が交じり合っているのに、それらが見事に調和していると思うと不思議です。

皆さんもどんな雨音が聴こえてくるか、一度じっくり耳をそばだててみては如何でしょうか。



今回のお題でトークは…
「雨の日の楽しみ方」です。

皆さんは雨の日って何をしてお過ごですか？？私は外をじっと眺め、雨音を聞いて癒されています。



皆さんもどんな雨音が聴こえてくるか、一度じっくり耳をそばだててみては如何でしょうか。



ありがとうございます



新しくたくさんの方の利用者さんに使っていただきます♪ いつも本当にありがとうございます。

く
寄
付
く



ヘルパー部署ではビデオテープを頂きました！
ヘルパー部署の居室では現在もビデオ
テープを活用しています。

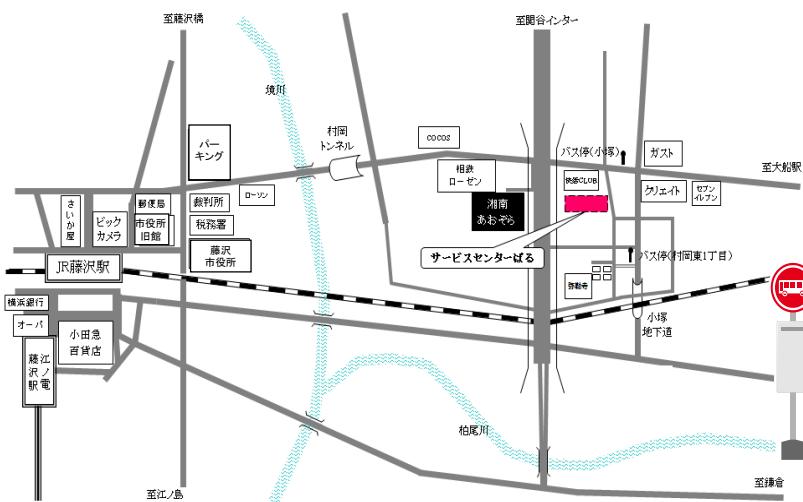


《サービスセンターぱる》

〒251-0013

藤沢市小塚592 TEL:0466-28-0909

FAX:0466-28-0959



【バスをご利用の場合】

<行きかた1>

藤沢駅北口より9番乗り場『大船駅行き』または『四季の杜行き』

『小塚』停留所から徒歩2分になります。

<行きかた2>

藤沢駅南口小田急百貨店前8番乗り場『渡内中央行き』もしくは『湘南鎌倉総合病院行き』(教養センター行きは×)に乗り、『村岡東1丁目』停留所から徒歩3分になります。

【徒歩で来所される場合】

藤沢駅北口より徒歩18分